

地域連携事業の方針について

本学は「教育」・「研究」と共に大学の使命の一つである「社会貢献」の一環として、県内の市町と包括連携協定を締結し、それぞれの地域が抱える課題を本学が所有する技術・技能を活用し解決を図る。

具体的には、各行政機関に設置された委員会に委員やアドバイザーとしての参画、未来の技術者を育てるための小中学生向けの出前授業やオンライン講座の開講、さらに ICT 教育の支援などを行う。

一方、協定を締結した各市町からは、教養特別科目であるボランティア活動やインターンシップ、ソーシャルアクティブラーニングなどの機会を得て、双方にとって有益な関係を継続して構築する。

また、連携協定を締結した各市町とは双方の担当者が連絡を密にとることで、ポストコロナの中で円滑に事業運営が行える体制を構築している。

なお、具体的な活動計画と指標は以下の通りである。

【年間活動計画・指標】

- ・ 小中学生対象を対象とした出前授業等の開催 20 回
- ・ 高校生を対象とした課題探究授業などへの教員派遣 10 回
- ・ 学校教員・地域住民を対象とした教養講座の実施 5 回
- ・ 地域課題解決に向けたプロジェクトの参画 5 回
- ・ 児童・生徒・地域住民を対象とした大学施設見学 5 回
- ・ 地域企業へのインターンシップ及び自治体へのボランティアの促進
- ・ 災害発生に伴う物資支援

【地域連携における年間アウトカム指標】

- ・ 各種イベントを企画した自治体の満足度 80%以上
- ・ 各種イベントに参加した本学学生の満足度 80%以上
- ・ 千葉県内に本社のある企業に就職
または県内の事業所に配属された卒業生数の比率 10%以上